



予防接種により 守ることができる 命があります。

感染症にかかると、重い後遺症が残ることや、命がおびやかされることがあります。予防接種を受けると発熱など副反応が現れることもあります。感染した場合の結果の重大性と比較すれば、**予防接種を受けることの大切さは明らかです。**予防接種により、お子さまの命と健康を守りましょう。

予防接種スケジュールの例(2014年4月1日時点)

	防げる病気	ワクチン名	6週	2ヶ月	3ヶ月	4ヶ月	5ヶ月	6~8ヶ月	9~11ヶ月	12~15ヶ月	16ヶ月	17~23ヶ月	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳	11歳	12歳	13歳以上	
任意	B型肝炎	B型肝炎		①	②			③																	
任意	ロタウイルス感染症(感染性胃腸炎)	ロタウイルス(1価) ロタウイルス(5価)		①	②	③		7ヶ月まで																	
定期	細菌性髄膜炎等	インフルエンザ菌b型(ヒブ)		①	②	③				④															
定期	細菌性髄膜炎等	小児用肺炎球菌(13価)		①	②	③				④															
定期	ジフテリア・百日せき・破傷風・ポリオ	四種混合(DPT-IPV)			①	②	③					④													
定期	ジフテリア・破傷風	二種混合(DT)																				①			
定期	結核	BCG						①																	
定期	麻しん(はしか)、風しん	麻しん風しん混合(MR)								①							②								
任意	おたふくかぜ	おたふくかぜ								①							②								
任意	水痘(水ぼうそう)	水痘(水ぼうそう)								①		②													
定期	日本脳炎	日本脳炎												①②	③						④				
任意	インフルエンザ	インフルエンザ												毎年①②(10~11月頃)										毎年①が①②	
定期	子宮頸がん	ヒトパピローマウイルス(HPV)(2価)																					小6	中1	中2
定期	子宮頸がん、尖圭コンジローマ	ヒトパピローマウイルス(HPV)(4価)																					①②③	~高1	

(任意接種は日本小児科学会推奨スケジュールを参考)

定期 : 法律で規定された予防接種(ほとんどの市町村が無料で実施)。

任意 : 定期接種以外の予防接種。基本的には有料(自己負担)だが、補助を行っている市町村もある。必要性は定期接種と変わらない。

※ワクチンには接種年齢、接種回数、接種間隔が定められています。

※定期接種の詳しい接種方法は、お住まいの市町村予防接種担当課にご確認ください。任意接種については、医療機関にご相談ください。

※ロタウイルスワクチン、HPVワクチンは、各2種類あります。ワクチンによって接種スケジュールが異なります。どちらかを接種しましょう。

: 定期接種ができる期間

: 任意接種ができる期間

: 同時接種の例

※数字は接種回数(①は1回目、②は2回目という意味)